

令和5年4月25日 教育委員会報告事項についての質疑応答（要旨）

（報告）

ア 令和5年度全国学力・学習状況調査について

※指導課長から資料に基づき説明

（安田委員）英語の「話すこと」に関する調査をオンラインで実施したとのことだが、トラブル等はなかったか。

（指導課長）特にトラブルは発生していない。

（神谷委員）英語のスピーキングテストはどのように実施するか。一人一人実施するのか。

（指導課長）「話すこと」に関する調査は、別室でヘッドホンを使って実施している。調査は5分程度のものである。

イ 令和5年度浜松市立高等学校スクール・ミッションについて

※市立高等学校から資料に基づき説明

（安田委員）スクール・ミッションの策定は今年度から始めた取り組みか。

（市立高等学校長）昨年度、文部科学省から通達を受け、令和5年度から新たに策定したものである。

ウ 令和4年度浜松市立高等学校の部活動と進路等の状況について

※市立高等学校から資料に基づき説明

（神谷委員）私立の学校は進路に対して補習を行うなど面倒見が良いと聞くが、市立高等学校ではどのように対応しているか。また、教員の働き方改革という視点からの両立はどのように考えているか。

（市立高等学校長）主に自主学習を推奨しており、教室の開放などで対応している。補講を行うこともあるが、教員の勤務時間内で実施している。

（黒柳委員）自転車のヘルメットの着用が努力義務化されたが、学校ではどのように指導しているか。

(市立高等学校長) ヘルメット着用を徹底させるところまでは至っていないが、着用が定着するよう推奨している状況である。家庭とも連携して進めていきたい。

エ 令和5年度浜松市立小中学校児童・生徒数について

※教育支援課から資料に基づき説明

質疑応答なし

オ 令和5年度浜松市立幼稚園園児数について

※幼児教育・保育課から資料に基づき説明

(田中委員) 園児は、毎年 200 人程度減少しているが、幼稚園教諭の人数はどのように推移しているか。

(幼児教育・保育課長) 幼稚園教諭は学級に対して配置しているため、1学級の中で園児数が減少しても学級数が変わらなければ大きな減少はない。補助に入っている会計年度任用職員は若干減少している。

(田中委員) 園児の減少に対して幼稚園教諭が減少していないということは、園児一人当たりの支援が手厚くなっていると考えてよいか。

(幼児教育・保育課長) そうした見方もできるが、支援を必要とする園児は増えているため、より多くの目で園児たちを見ていくことが必要と考えている。全体として園児一人あたりに対する職員数の割合は、増えている。

カ 令和4年度浜松地域遺産の認定について

※文化財課から資料に基づき説明

(安田委員) 地域からの推薦とは自治会等を指すのか。また、認定されたことによるメリットはあるか。

(文化財課) 個人の推薦は不可としており、自治会や勉強会等の任意団体等からの推薦を地域からの推薦としている。地域の宝として顕彰することで後世へ継承していくことを目的としており、認定されたことによるメリットは、地域の文化財が顕在化し多くの方に知ってもらいきっかけとなることである。